

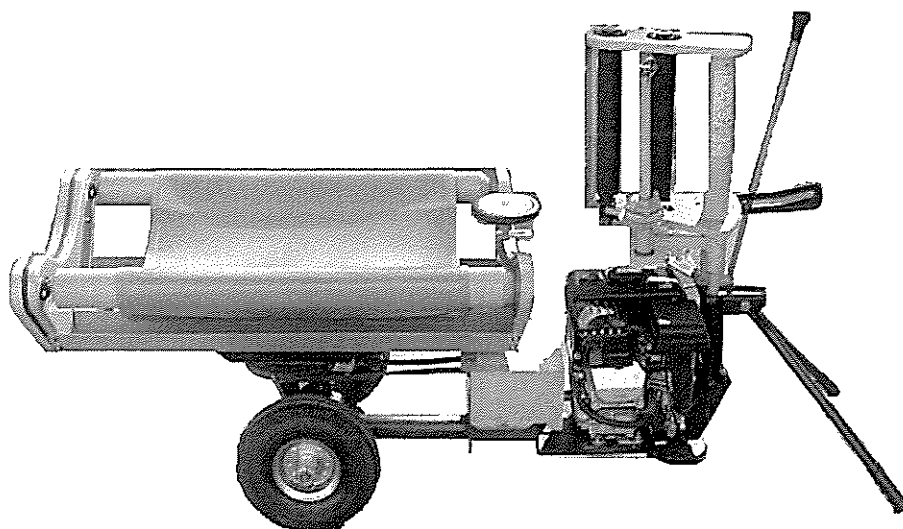
取扱説明書及び部品表



ミニトラックマシーン

WM-510E

WM-510M



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**ミニラップマシン**の取扱方法と使用上の注意事項について、記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも**必ず製品に近接して保存**してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

警 告 サ イ ン

 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

 **危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	7
各部の名称とはたらき	8
開梱後の組立て	9
1. ストレッチフレームのセット	9-1
2. レンケツロッドのセット	9-1
3. 配線の接続	9-1
4. ワイヤの接続	9-2
運転に必要な装置の取扱い	10
1. フィルム巻き付け量の調整	10
2. Vベルトの調整	10
3. ラップマシーンの移動と設置	11
4. フィルムのセット	11
作 業 方 法	12
1. 作業手順と要点	12
2. 操作レバー始動位置の確認	13
3. エンジン、モーターの始動	13
4. ベールの積込み	13
5. フィルムの結び付け	14
6. 本機の始動	14
7. ラッピング	15
8. フィルムの切断	15
9. フィルムの抜き取り	15
作業前の点検について	16
簡単な手入れと処置	17
1. 各部への給油、グリスアップ	17
2. ゴムロールの手入れ	17
3. 長期格納時の手入れ	17
不 調 診 断	18
付 表	19



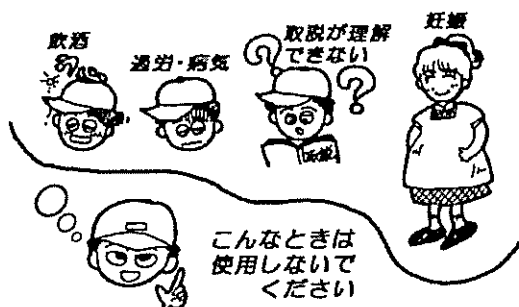
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

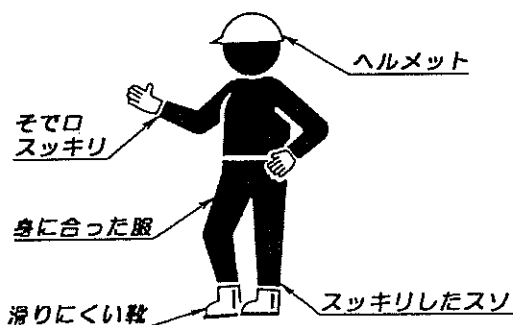
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

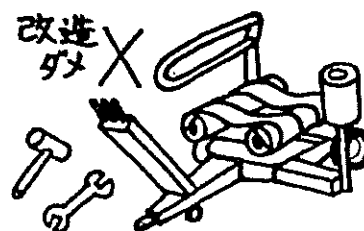
機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 機械の改造嚴禁

純正部品や指定以外の部品を取付けな
いでください。

また、改造をしないでください。



(4) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

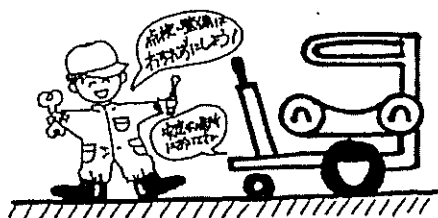
整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。



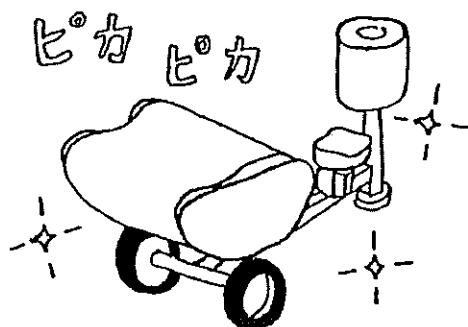
⚠ 安全に作業するために

- (2) 作業前の点検・整備を忘れずに
ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。
守らないと傷害事故をひきおこす恐れがあります。

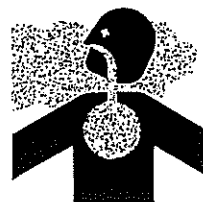
- (3) 点検・整備・掃除をするとき
点検・整備・修理・掃除をするときは、
交通の危険がなく、機械が転倒したり、
動いたりしない平坦で安定した場所で
エンジンを停止させてから行ってくだ
さい。
モーター仕様の場合は必ずスイッチを
切り、コンセントを抜いてください。
守らないと傷害事故をひきおこす恐れ
があります。



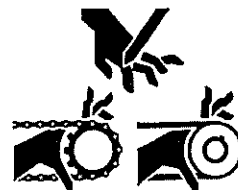
- (4) 機械を常にきれいに
性能を長期間維持するためにも、機械
を常にきれいに維持してください。



- (5) 排気ガスには十分注意
屋内などでエンジンを始動するときは
エンジンの排気ガスによる一酸化炭素
中毒の恐れがあります。
エンジンの始動は、風通しのよい場所
で行い、やむをえず屋内で始動する場
合には、十分換気を行ってください。



- (6) カバー類を必ず取付ける
カバー類などの防護装置を取外すとき
は、必ずエンジンを止めてから行って
ください。
また、取外したカバー類は必ず元どお
りに取付けてください。守らないと
傷害事故を引き起こす恐れがあります。



- (7) 注油・給油するときは
必ずエンジンを停止させてから行って
ください。
火災予防のためにも、エンジンが熱い
あいだは絶対に注油・給油しないでく
ださい。



⚠ 安全に作業するために

(8) 燃料補給時は火気厳禁

燃料補給時は、くわえたばこやマッチ・ライター等裸火照明は絶対に使用しないでください。

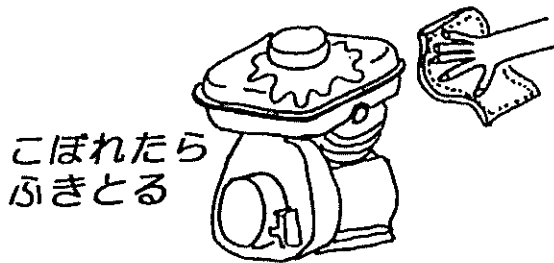
守らないと燃料に引火し、火災をおこす恐れがあります。



(9) こぼれた燃料はふき取る

燃料を補給したときは燃料キャップを確実に閉め、こぼれた燃料はきれいにふき取ってください。

守らないと火災事故を引き起こす可能性があります。



(10) マフラー・エンジンのゴミは取り除く

マフラーやエンジン周辺にワラクズ・ゴミ等が付着していないか作業前に点検し、付着していれば取り除いてください。

守らないと火災事故をおこす恐れがあります。



(11) ストップスイッチの動作

配線コードの外れ等がないかを点検し、ストップスイッチを押してエンジンが停止するか、モーター仕様の場合はモーターが停止するかを必ず確認してください。

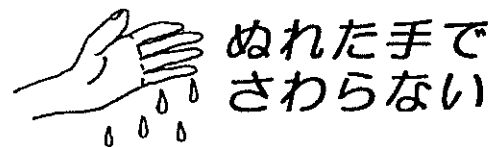
守らないと傷害事故をひきおこす恐れがあります。

エンジンは止まる？ モーターは止まる？

ストップスイッチ

(12) ぬれた手でさわらない

漏電によって傷害事故をひきおこす恐れがあるため、ぬれた手でさわらないでください。

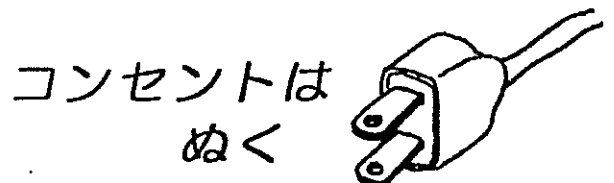


(13) 長期間格納するときは

燃料の変質を予防するため、燃料タンク・気化器内の燃料を抜いてください。

モーター仕様の場合は必ずスイッチを切り、コンセントを抜いてください。

守らないと火災事故をひきおこす恐れがあります。



⚠ 安全に作業するために

3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。



(2) エンジンを始動するときは

P T Oを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

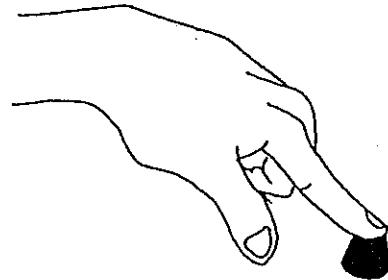


安全確認

(3) ストレッチフィルムの交換や草の巻きつきを取り除くときは

操作レバーを中立にし、エンジンまたはモーターを必ず止めてから行ってください。

守らないと傷害事故をひきおこす恐れがあります。



ストップスイッチ

(4) 水気のあるところでは使わない

感電する恐れがあるため、水気のあるところでは使わないでください。

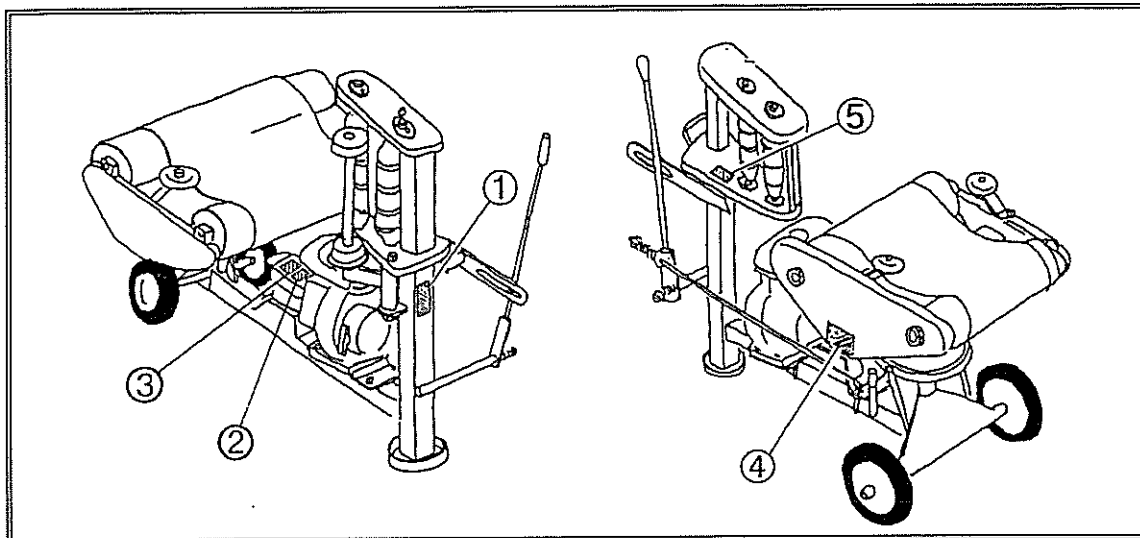


以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

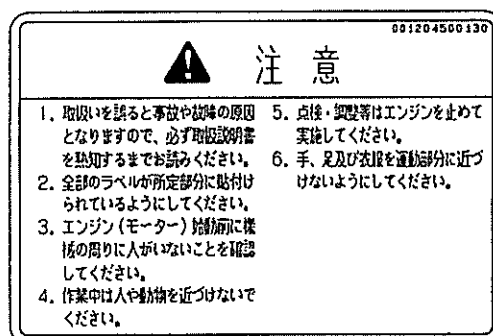
▲ 安全に作業するために

4. 警告ラベルの貼付け位置



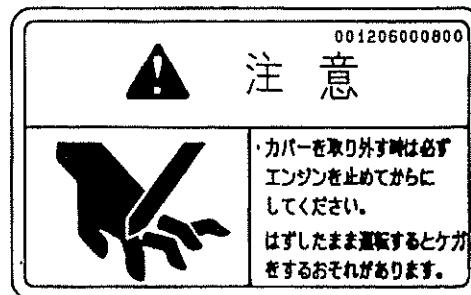
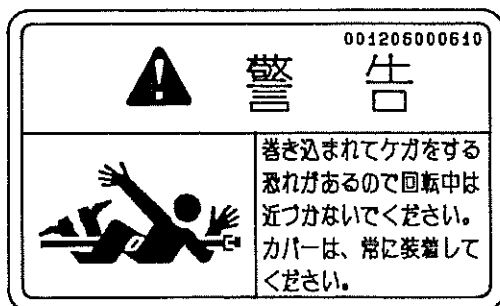
①部品コード 001206000780

③部品コード 0012045600130



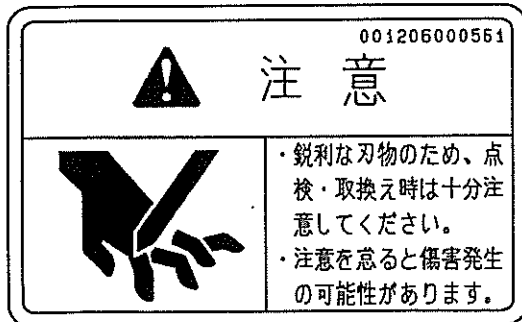
②部品コード 001206000610

④部品コード 001206000800



⚠ 安全に作業するために

⑤部品コード 001206000561



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

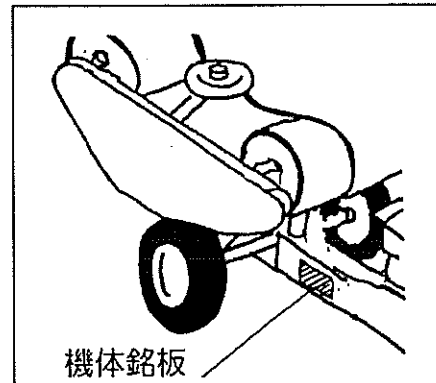
本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈等をロールペールをラップする作業にご使用ください。
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って
点検・処置しても、なお不具合があるとき
は、お買い上げいただいた販売店、農協、
または、お近くの当社営業所までご連絡く
ださい。



【連絡していただきたい内容】

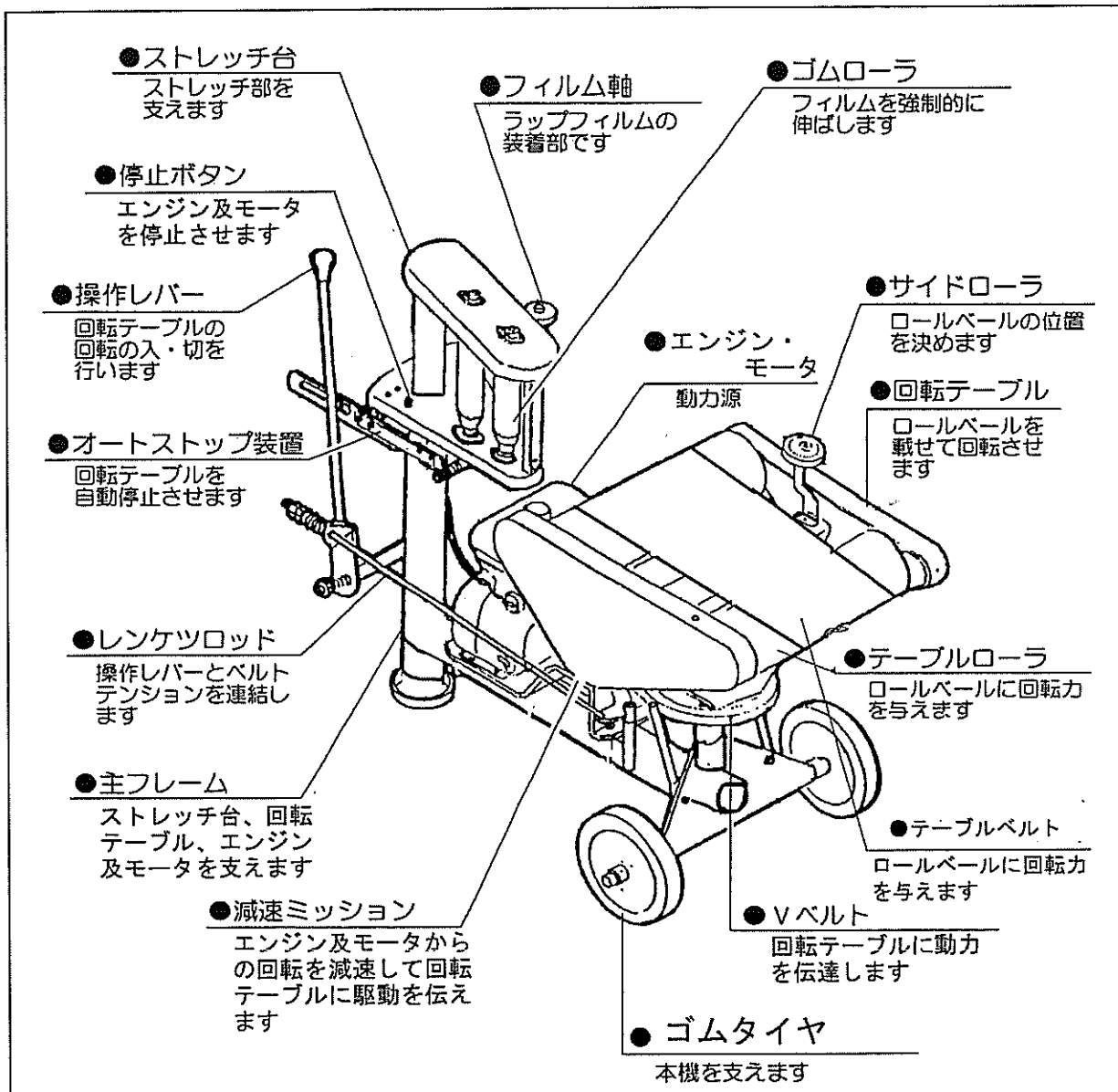
- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ
詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	ミニラップマシン		
型 式	WM-510E	WM-510M	
機 体 No. (SER-No.)			
購入年月日	年	月	日
販売店名	TEL : ()		

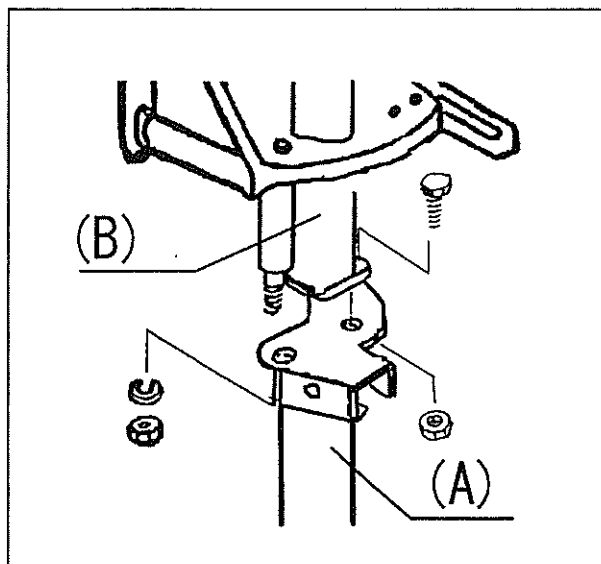
各部の名称とはたらき



開梱後の組立て

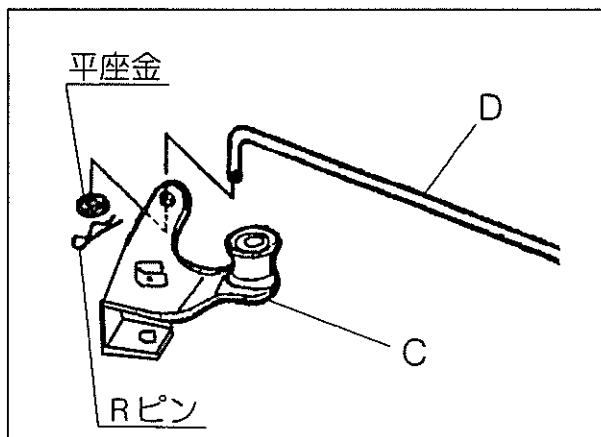
1. ストレッチフレームのセット

主フレーム (A) とストレッチフレーム (B) をボルト、ナット、バネザガネで締め付けてください。



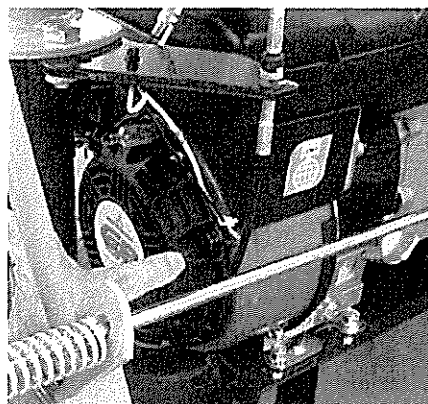
2. レンケツロッドのセット

Vベルトのテンションアーム (C) の穴にレンケツロッド (D) を図のように差込み、平座金とRピンで固定してください。

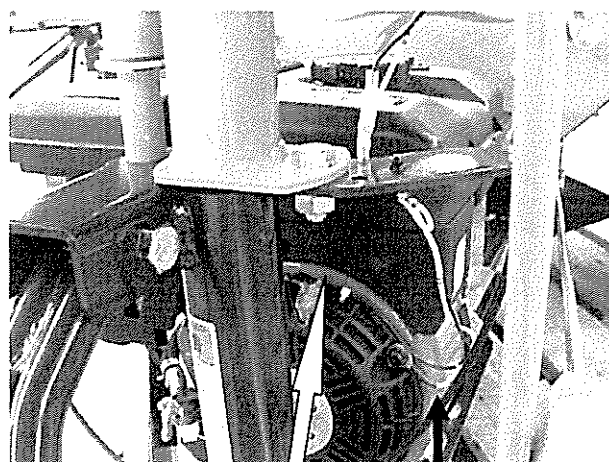


3. 配線の接続 (WM-510E)

①アース線はエンジンスタータカバー取付けボルトに共締めしてください。



②エンジンストップスイッチ用ハーネスと停止ボタンのハーネスをギボシで接続してください。



ハーネスどうしを
ナイロントイでク
ランプをする。



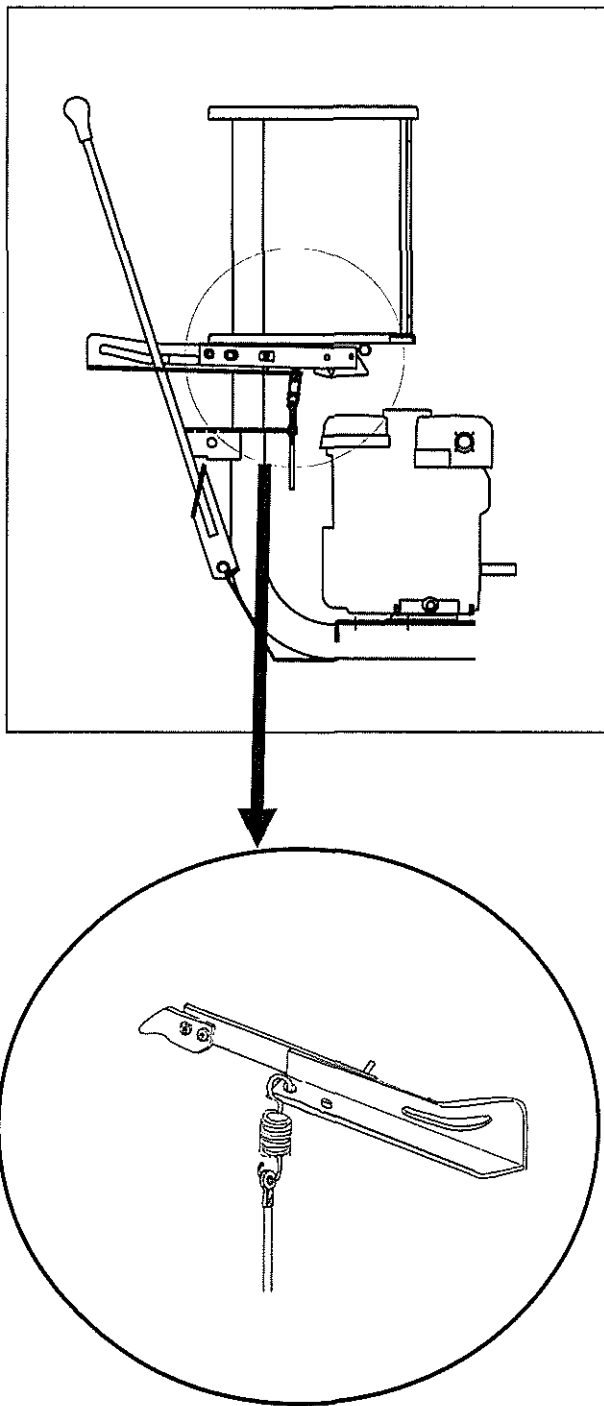
③プッシュマウントタイで余ったコードをクランプしてください。

開梱後の組立て

配線のたるみにより、スタータロープを引くときに引っ掛ける恐れがありますので前項の要領で確実に配線してください。

4. ワイヤの接続 (WM-510E)

エンジンスロットルワイヤ先端のバネをマキスウカクニンプレート(図)の穴に引っ掛けてください。



スプリング両端のフックははずれないようにかしめてください。

運転に必要な装置の取扱い

1. フィルム巻き付け量の調整

- オートストップ装置は、2層巻き～6層巻きまで任意に設定可能です。
- 巻き数設定は下記の要領で設定してください。

- ① 図の蝶ナット (A) を緩めてください。
- ② ノブボルト (B) を回してネジタイマーのL寸法を表1の数値を参考に合わせてください。
- ③ 再度、蝶ナット (A) を締めて固定してください。

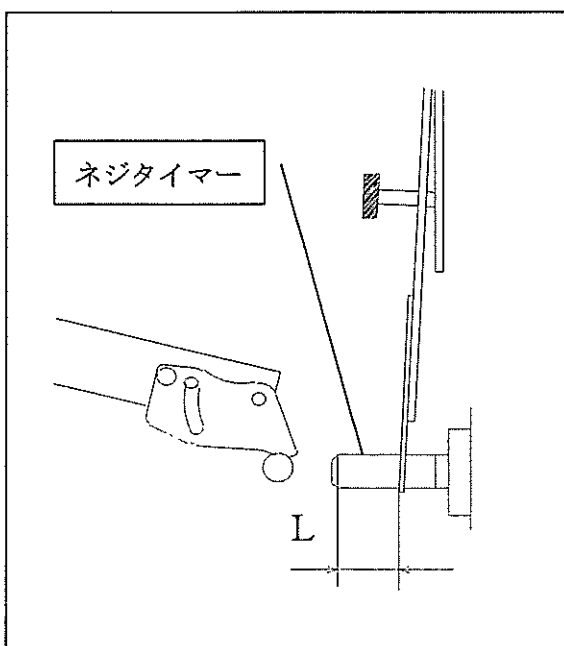
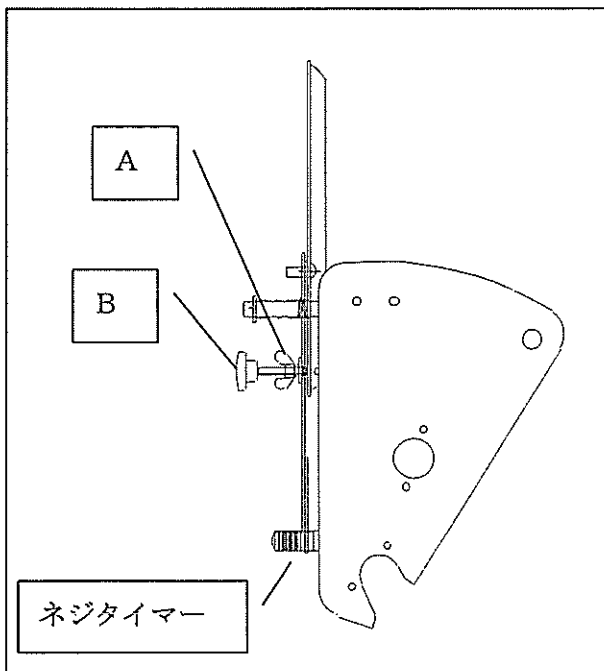


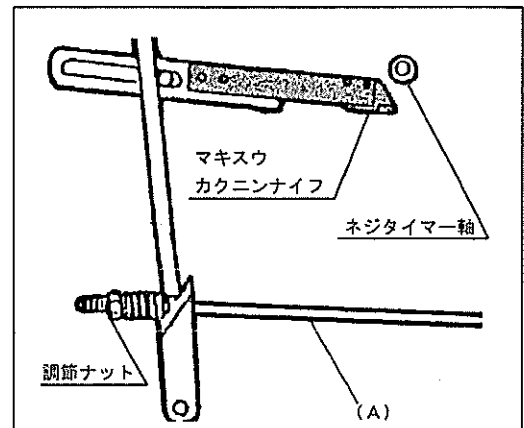
表 1

巻き数	L寸法 (mm)
2層巻き	8
4層巻き	16
6層巻き	24

注意

ロール形状により、実際の巻き数と誤差が発生する可能性があります。表の数値は目安とし、L寸法の微調整をする必要があります。

2. Vベルトの調整



- ① マキスウカクニンナイフがはずれた状態にしてください。
- ② 回転テーブルの付近に人がいないことを確認してからエンジン、モーターを始動させてください。
- ③ レンケツロッド (A) の調節ナットをまわしてテーブルが回り出すまで締めてください。
- ④ 次に回転テーブルがつれ回りをしない所まで調節ナットを緩めてください。
- ④ ご使用中にVベルトが伸びてきたときは、減速機及びエンジン固定ボルトを緩めて移動させベルトを張ってください。

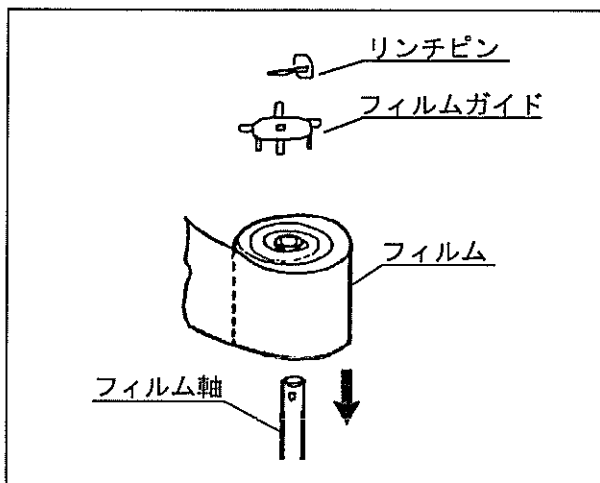
運転に必要な装置の取扱い

3. ラップマシンの設置

- できるだけ水平で、まわりに障害物がないところに設置してください。

4. フィルムのセット

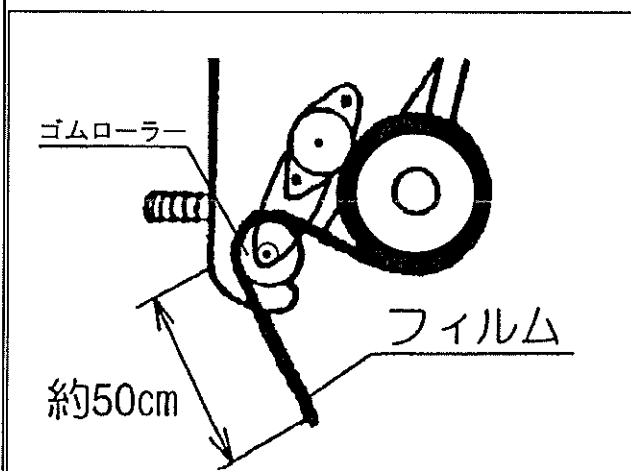
- ① フィルムの巻き方向を下図のようにしてフィルム軸に差し込んでください。



注意

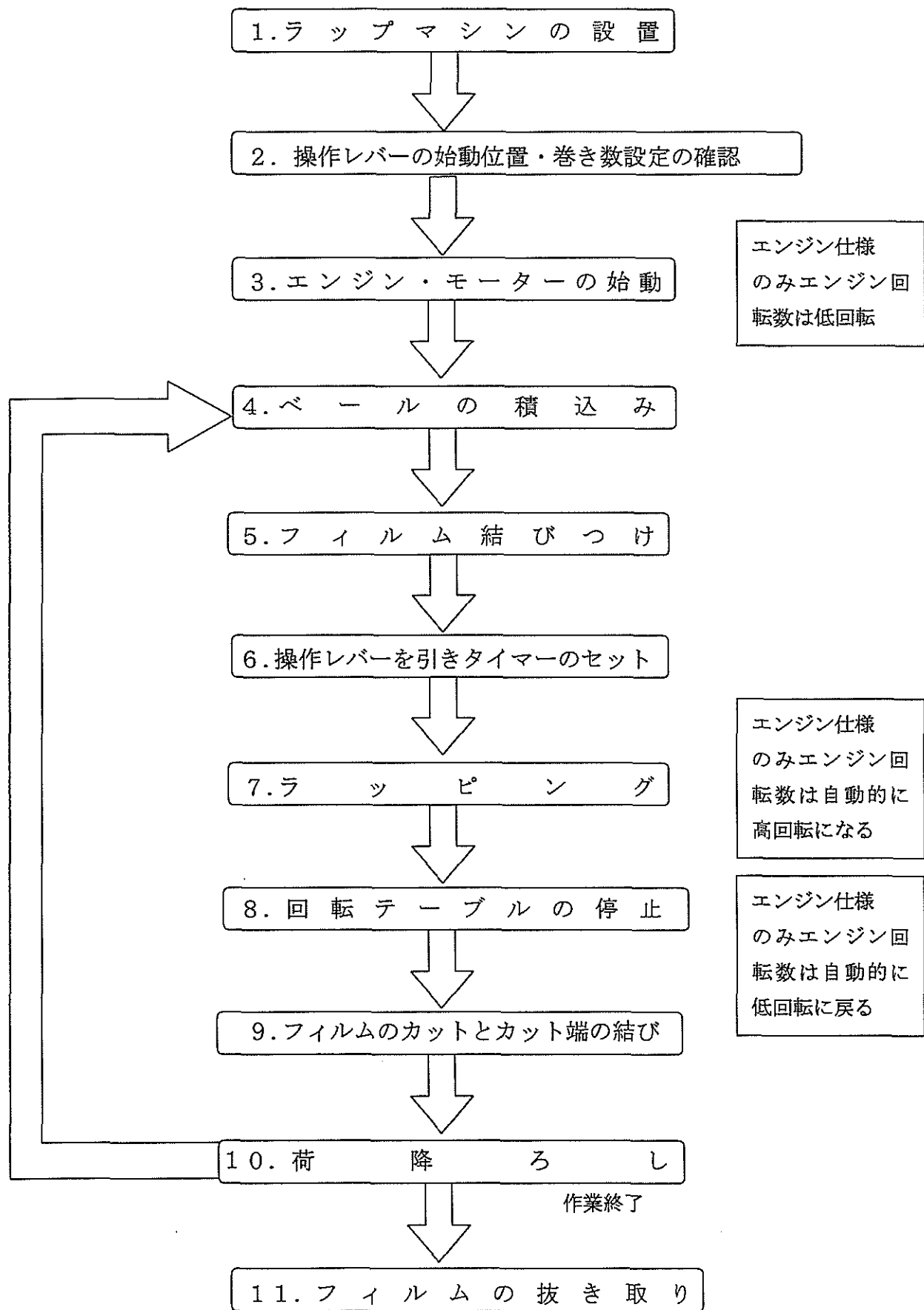
フィルムに傷をつけないよう、十分注意してください。

- ② フィルムは下図のようにゴムローラから約50cm引き出してください。



作業方法

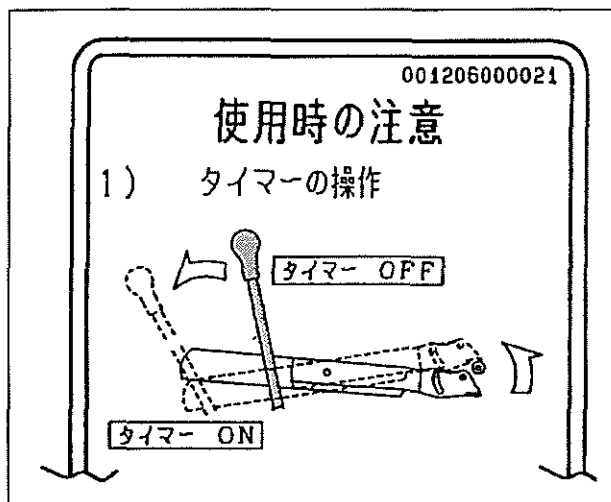
1. 作業手順と要点



作業方法

2. 操作レバー始動位置の確認

下図の貼付マークのように操作レバーがタイマーOFFの状態であることを確認してください。



警告

操作レバーが始動位置に無いとエンジン、モーターを始動させた時、急に回転テーブルが回転し、非常に危険ですので注意してください。

3. エンジン、モーターの始動

まわりに人がいない事を確認してからエンジン、モーターを始動させてください。

◆ エンジンの場合

スタータロープを引いて始動させてください。タイマーOFF（作業していない状態）時は、エンジン回転数が低回転の状態、タイマーON（作業をしている状態）時は、自動的にエンジン回転数が高回転の状態になります。

◆ モーターの場合

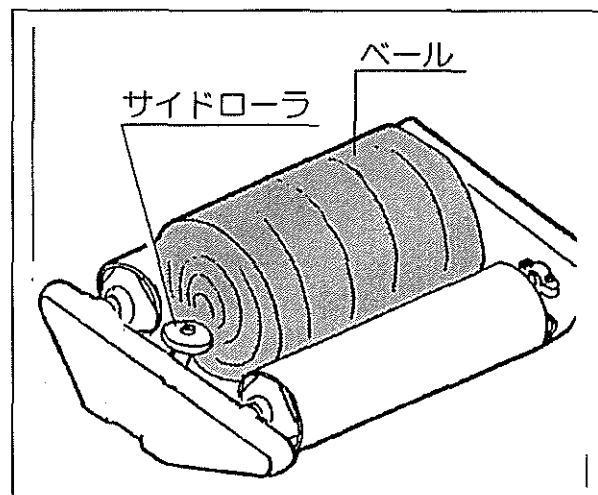
コンセントを家庭用の100Vの電源に差し込み、スイッチをONにしてください。

注意

エンジンの取扱いについては別冊のエンジン説明書をお読みください。

4. ベールの積込み

- ベールは静かに回転テーブルの中心にのせてください。
- サイドローラをベールの幅に合わせてください。

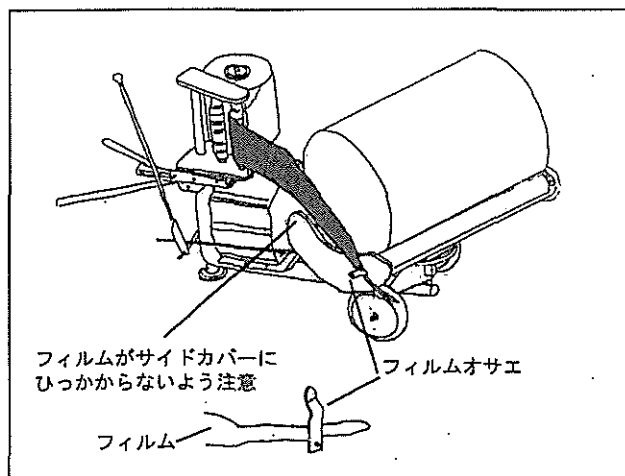


作業方法

5. フィルムの結び付け

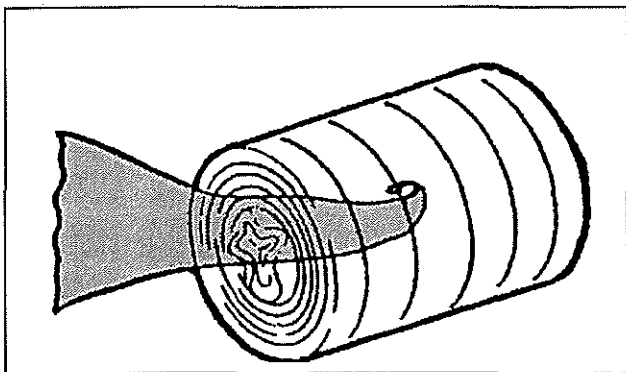
● 方法1

フィルムは下図のようにゴムロールの間を通して、テーブルのフィルムオサエにしっかりとさみこみ、手でテーブルを90度位回転させてください。その際テーブルのサイドカバーにフィルムが引っかからないように注意してください。



● 方法2

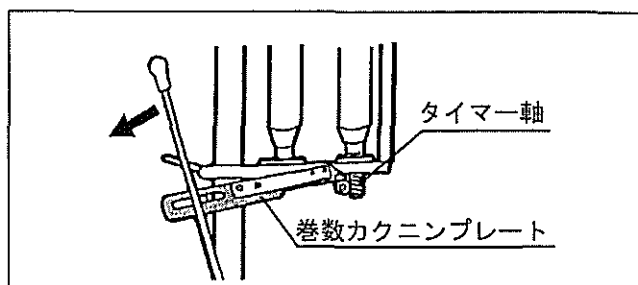
ベールのトワインに結び付けてください。



6. 本機の始動

- 操作レバーを巻数カクニンプレートの長穴に入れてレバーを引き、回転テーブルを2、3回まわしてロールが安定したら巻数カクニンプレートをタイマーネジにのせてください。

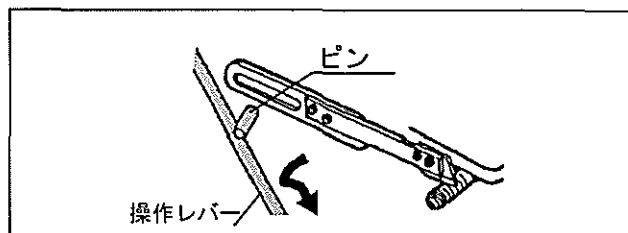
エンジン仕様(WM-510E)はテーブルが回転すると自動的にエンジン回転が上がります。



注意

ベールの重量が17kg以下の場合にはラップできませんので注意してください。

- ベール重量が20kg未満の場合、ベールが安定しない時は操作レバーを下図のようにピンを抜いてレバーを戻してください。ベールを安定させた後、再び長穴にピンを入れて再始動してください。



警告

本機に異常がある場合は、非常停止ボタンを押してエンジン、モーターを停止させてください。

作業方法

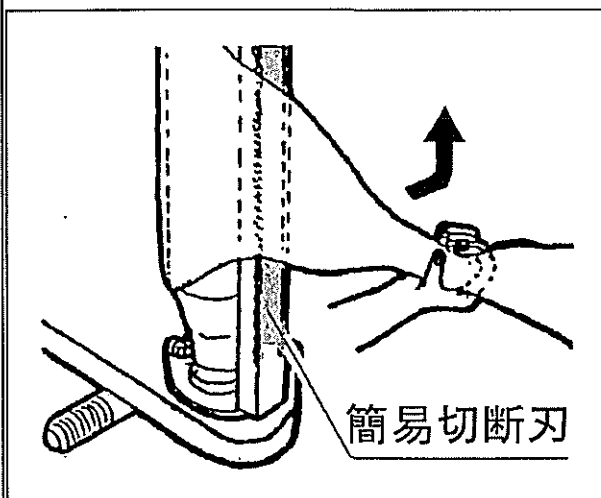
7. ラッピング

本機は設定巻き数ラッピングした後、オートストップ装置が働いて自動的に回転テーブルが停止するようになっています。

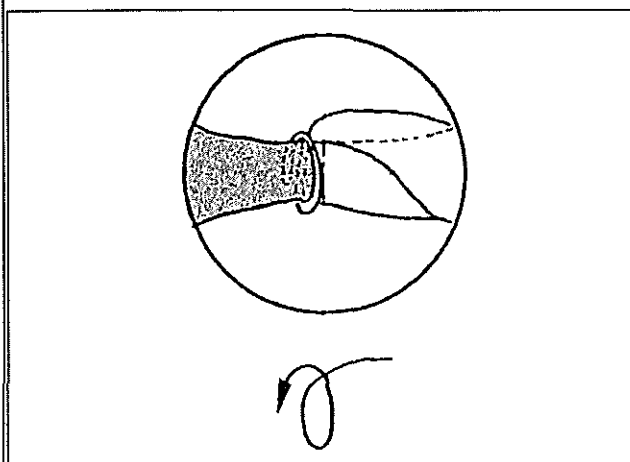
また、エンジン仕様（WM-510E）は回転テーブルが停止すると、自動的にエンジン回転数が下がり、燃料消費をおさえる構造になっています。

8. フィルムの切断

- ラッピングが終わるとストレッチ台に簡易切断刃が装備されておりますので下図のようにフィルムを手で押しながら引き上げ、切断してください。



- ベール側のカット端を下図のように巻付けたフィルムにしっかりはさみつけてください。



9. フィルムの抜き取り

ベールのラッピング作業が終わったら、必ずフィルムをフィルム軸から抜き取って乾燥した屋内に保管してください。

注意

フィルムは雨に濡らさないようにしてください。芯の紙筒が変形します。
万一、変形した場合はフィルム軸からフィルムが抜けなくなりますので特に注意してください。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。作業前の点検は、欠かさず行ってください。



警告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
 - 点検・整備をするときは必ずエンジンを停止させ、モーター仕様の場合はスイッチを切り、コンセントを抜いてください。
- これをおこたると重大な傷害事故をひき起こす恐れがあります。

点検整備基準

○点 検 ●交 換 △補 給 □清 掃

作 業 内 容	時 間				備 考
	作業前 毎	作業後 毎	50 時 間 毎	100 時 間 毎	
ボルト、ナットのゆるみ				○	
タイマーまわり		□			
エンジンまわり		□			エンジン仕様のみ
ストレッチロールの掃除		□			
エンジンオイル	○			●	エンジン仕様のみ ※初回のみ 25 時間で交換
エアクリーナ	○		□		エンジン仕様のみ
回転テーブルチェーン		○			
ストレッチチェーン		○			
テーブルローラ駆動		○			

注 意

特に作業条件が悪い場合や、連続作業で稼働率が高いときは適宜規定の時間より早めに点検整備してください。

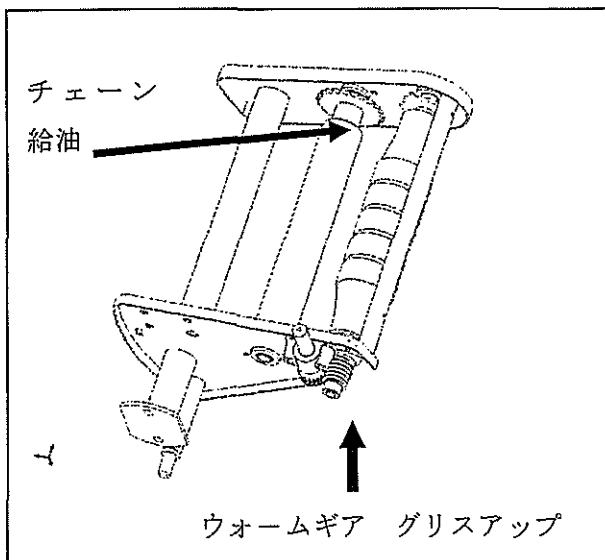
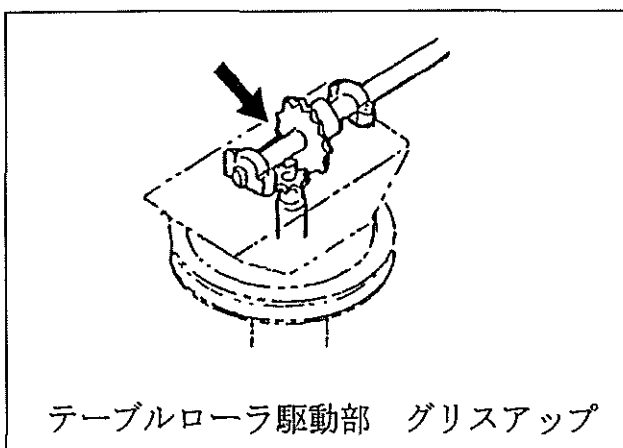
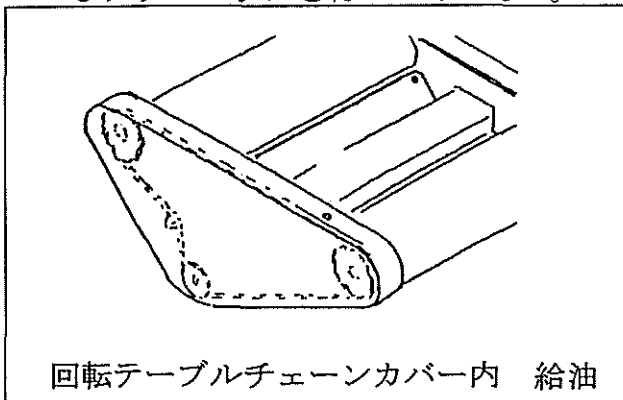
簡単な手入れと処置

⚠ 警告

- ① 各部の調整をするときは必ずエンジンまたはモーターを停止させて回転部が止まってから行ってください。
- ② 取外したカバー類は、必ず取付けてください。

1. 各部への注油・グリスアップ

作業の前後には、下記の回転部に給油及びグリスアップを行ってください。



2. ゴムロールの手入れ

作業後、ゴムロールに付着したのりを軽油等で拭き取ってください。

のりが付着したまま作業を続けると、フィルムが張力が一定せず、巻きむらが起こることがあります。



3. 長期格納時の手入れ

作業が終了したら、次シーズンの使用時に備えかつ、末長くご利用いただくためにも十分な、お手入れを行ってください。

- 特に回転テーブル上、ストレッチ台及び、プーリー付近のワラకు等は駆動部への巻き付き原因になりますので除去し、清掃してください。
- モーター仕様でコードに傷がついていないか確認してください。
万一、傷を発見したら絶縁テープでしっかり補修するか、傷がひどい場合はコードを交換してください。
- 洗車する場合にはエンジン、モーターには水をかけないでください。
- 塗装のはがれた部分には補正塗料等を塗り、錆が出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットがゆるんでいないかを確認し、ゆるんでいるときは締めてください。
- 格納する場所は、平坦で雨やほこりのかからない屋内に保管してください。

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ページ
●フィルムがよく切れる	●ゴムロールが汚れている	●ゴムロールをきれいにする	1 7
	●チェーンの油切れ	●ストレッチチェーンに注油する	1 7
●ターンテーブルが停止しない	●Vベルトの張り過ぎ	●Vベルトの調整	1 1
●ターンテーブルが回転しない	●Vベルトのユルミ	●Vベルトの調整	1 1
●ターンテーブルからロールが落ちる	●ロールが軽すぎる	●1 7 kg以上のロールを作る	1 4

この項にしたがって、再度点検されても直らないときには販売店にお問い合わせください。

付 表

1. 主要諸元

品 名		ミニラップマシン	
型 式		WM-510E	WM-510M
原 動 機		三菱エンジン	モーター
エンジン型式 ・規格		GB100LN-120 ・1.6KW (2.2PS)	単相100V ・200W
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1 7 5 0	
	全 幅 (mm)	9 0 0	
	全 高 (mm)	8 4 0	
質 量 (kg)		6 9	6 5
適 用 ベ ー ル		直径50×幅60～73 (cm) 17kg以上	

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。